

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第38147号

発行所 琉球新報社
〒900-8525那覇市天久905番地
電話 098(865)5111
©琉球新報社2015年

ニュースや情報提供
098(865)5158
広告のお申し込み
(0120)415059
購読・配達の問い合わせ
(0120)395069
本社事業案内
098(865)5256
読者相談室
098(865)5656

海題材に焼き物個展 金子さん、市長賞授与も

石垣焼窯元・金子晴彦さん

フランス



フランス・マルセイユ市の展示館ヴィラバガテルで開

レセプションで歓談する金子さん(右)。後ろは金子さんの作品「ハッピーブルーウオール」(5層のインスタレーション)

かれた。在マルセイユ日本領事館が後援した。

マルセイユは南仏の光がさんさんと降りそそぐ温暖な都市だ。その昔、港町として栄えたヨーロッパ第1の都市として、アートを志す日本人の画家も皆、マルセイユを経由しヨーロッパ全土に渡って行った。そのマルセイユで金子さんの個展が行われたのは興味深い。金子さんが昨年9月に国際交流基金・パリ日本文

化会館で開いた個展がきっかけとなり、在マルセイユ日本領事館の後援で、マルセイユ市での今回の個展が実現した。

2月18日のオープニングレセプションでは、金子氏にマルセイユ市長賞が授与され、メダルも贈られるなど歓迎ムード一色だった。

金子さんは「マルセイユの海もとてもすてきで、海をテーマに創作している者にとつては一度展示してみたい所だ。海を題材とするテーマが一致したことで、展示が決まった。この展示会を機に、沖縄とマルセイユの友好が促進されることを願っている」と語った。

金子さんの作品は今後、9月のグランパレ宮殿でのアートクラフト展と、12月のルーブル美術館での絵画展での招待展示も決まっている。